

小金井市イメージキャラクター着ぐるみ等使用マニュアル

1 事前確認事項

着ぐるみを使用する前には、必ず以下の点を確認して下さい。
また、市の着ぐるみ着替え用テントを使用する際は、別添取扱説明書に基づき使用して下さい。

人員体制について

- 装演者及びアテンダントは、当マニュアルを熟読のうえ、装演してください。具体的な注意事項は以下のとおりです。
 - 装演者は、2人以上とし順次交替していく体制として下さい。
 - 連続可動時間は、基本15分程度を上限とし、適宜休憩を取るとともに、装演者は十分に水分補給を行って下さい。
 - アテンダントは必ず1名以上配置することとし、着ぐるみ周辺の器物に注意するとともに、お客様等との接触や転倒によるケガ等に十分留意して下さい。
 - イベントなどにおいては、演出等について司会者等と十分に打合せを行って下さい。

控室の確保について

- 装演に当たっては、着替えのため控え室等が必要となります。留意事項は、以下のとおりです。
 - 控室は、着替えに必要な十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることができ、目隠しのあるテント等を用意して下さい。
 - ※ テント等の用意が困難な場合は、着ぐるみ着替え用テントの貸出も可能ですので、事前にご相談下さい。
 - 外部から覗かれることがないように留意して下さい。
 - 控室は関係者以外立ち入り禁止区域内に設けて下さい。

運搬車両等の確保について

- 催事会場等への移動に関する留意事項は、以下のとおりです。
 - 着ぐるみは、①頭部:約85×65×70cm(毛をねせた状態)、②胴体部:約55×45×85cm、③脚部:約40×15×70cm×2本、④手袋(左右1対)の4パーツで構成されます。余裕をもって積載できる車両及び2人以上の運搬人員を準備して下さい。
 - 使用状況等を確認し、受け渡し返却の調整を行って下さい。

2 装演に当たって

着ぐるみは、周囲の視界があまり良くない上、構造や素材の関係で運動機能が制限されます。このため、装演者は周囲の状況に十分注意して危険のないように配慮して下さい。なお、初めて装演する際には、事前に着ぐるみを試着して、視界、動き等に慣れた上で本番に臨んで下さい。

また、着ぐるみを着て演技すると、大変汗をかきます。汗は放っておくとシミになり、カビや雑菌の繁殖原因にもなります。その汗が着ぐるみに浸み込むのを最小限に抑えるため、以下のようにある程度の用意が必要になります。

なお、着ぐるみは装演者の理想的身長として、160～165cmに設計されています。170cm以上の人は、着ぐるみの脚部が長くなってしまいうため、装演には適していません。

- 頭： 長い髪はゴムでまとめ、髪がたれてこないようにまとめて下さい。また、実際の装演時には、剣道の面をかぶる要領で手ぬぐい等を頭に巻いて、汗の吸い取るなどの工夫をして下さい。（インナーキャップでも可）
- 顔： 眼鏡は使用せず、裸眼かコンタクトを使用する。やむを得ず眼鏡を使用するときは、曇り止め、眼鏡バンドを使用して下さい。
- 体： 夏（上半身：Tシャツ、下：短パンもしくはハーフパンツ、スパッツ、レギンス 等）
冬（上：長Tシャツ、下：短パンもしくはハーフパンツ 等）
- 足： 長めの靴下（5本指用ソックスは、踏張りが利きお勧めです）を着用して下さい。

注意事項

- 眼鏡、ピアス、アクセサリ等は、必ず外して下さい。
- 濃い化粧は控えて下さい。
- 前日の睡眠不足、二日酔いなどの状態での装演は厳禁です。
- 必ず適度なストレッチなどの準備運動をして下さい。
- 夏場は、特に水分補給を十分にとり、熱中症・脱水症状に十分注意して下さい。
- 着用したままの喫煙は厳禁です。
- 雨天・降雪等の天候時については、屋外使用は避けて下さい。
- 泥の上では直に使用しないで下さい（使用する場合はシート等を敷いて下さい。）。)
- 素材上、汚れが付きやすく、また落ちにくいことに留意して下さい。

3 着ぐるみ各部の説明

① 脚部(附属ベルトで腰に固定)



③ 頭部



② 胴体(肩ベルトで装着)
手(手袋の中に手を入れる)



④ 完成！！



※ 着用の前に…

モニター・ファンを稼働する場合は、頭部を被る前にスイッチをONにしてください。

また、出演前には必ずこきんちゃんの髪の毛を整えて下さい。

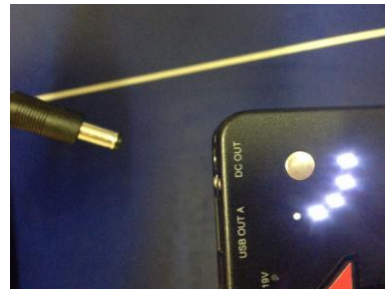
4 着替えの手順 ※一人では着用できないので必ず複数人で！

- ① 手袋をボディに取り付けて下さい。左右上下がありますので、間違えないようにしながら、マジックテープで取り付けます。
- ② 脚部を着用します。装演者に合わせて腰のベルトループの高さを調整し、付属のベルトで固定して下さい。
- ③ スタッフは胴体を持ち上げ、装演者の頭から胴体を通します。肩ベルトをきつめに調整し固定して下さい。また、脚部と胴体が分かれて見えないように、脚部のつなぎ目を胴体に入れ込んで下さい。この後、装演者は一方の腕を手袋に入れて、もう一方の腕は入れないで置いて下さい。
- ④ モニター・ファンを稼働させる場合は、頭部を被る前にスイッチをONにして下さい（「5 モニター・ファンの稼働について」をご参照下さい。）。
- ⑤ スタッフは頭部を持ち上げ、装演者に被せます。その時、装演者はアゴベルトから出ている紐を手袋に入れていない方の手でつかみ、アゴベルトを引っ張りながら頭部を被ります。アゴにベルトを引っ掛けた後、装演者は体をひねりながら手袋へ腕を入れます。
- ⑥ 完成！
- ⑦ 脱ぐ際は、まず手袋から装演者の手を抜いてあげて下さい。装演者はアゴベルトを外し、そのことをスタッフに伝えてから頭部を取って下さい。

5 モニター・ファンの稼働について

<モニターの使い方> …満充電で連続約6時間稼働できます。

- ① バッテリー側の電源をONにし、**バッテリーが12V出力である事を必ず確認**し、電源ジャックを「DC OUT」差し込みます。カメラ、モニターが起動し、映像が出ます。



- ② バッテリー収納袋にバッテリーを入れ、アゴ内側のマジックテープに固定します。



- ③ 電源OFFにするには電源ジャックを抜いて下さい。

④ 使用後は、通気性の高い室内で十分に乾燥させて下さい。

※注意

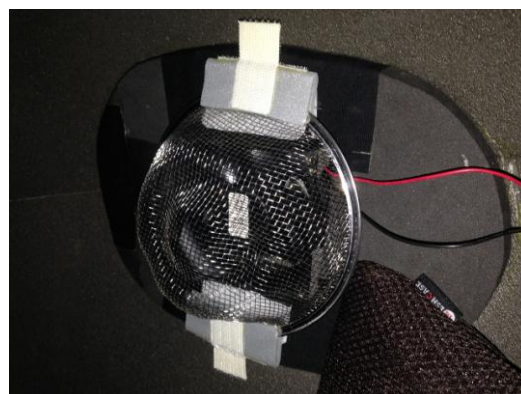
バッテリーは、他のVで出力すると、発熱・出火の恐れがあります。

＜ファンの使い方＞ …満充電で連続約7時間稼働できます。

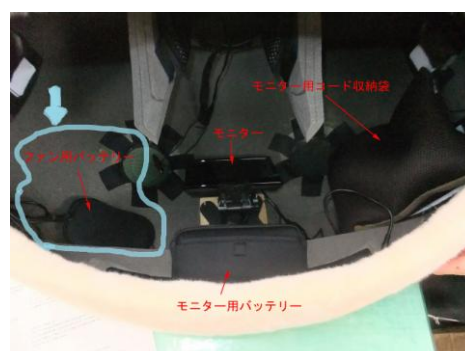
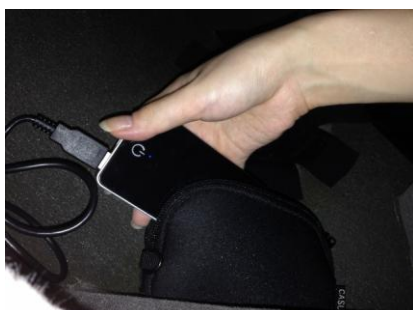
ファンは、マジックテープで固定されています。ファンを外して裏返し、再固定することで、送風、または排気を選ぶ事ができます。



① バッテリーに電源USBを差し込みます。バッテリー側の電源をONにすると、ファンが起動します。



② バッテリー収納袋にバッテリーを入れ、左頬内側のマジックテープに固定します。



③ 電源をOFFにするには電源USBを抜いて下さい。

※注意

ファンの稼働中は、決してファンに触らないで下さい。

※※ 共通注意事項

- ・ バッテリー等に消臭・殺菌スプレー等がかからない様、充分注意して下さい。
- ・ 落下等には充分注意し、強い衝撃を与えないで下さい。
- ・ 火のそばやストーブのそば、直射日光の強い所、炎天下の車内等、高温の場所での使用、放置をしないで下さい。
- ・ 異常な発熱、発煙等を感じた時はすぐに使用を中止して下さい。

6 装演時の注意点（中に入る人向け）

動き

- 動きは大きく、若干オーバーアクション気味に動いて下さい。
⇒ 着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと見ている側には着ぐるみの動きが小さく見えます。
- 小さな子どもとの握手は、できるだけしゃがんで行って下さい。
⇒ 子どもは大きな着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖心を抱くことがあります。
- 子どもを抱きかかえる行為、イメージダウンにつながる行為は厳禁です。

発声

- 演技中に声を発することは厳禁です。
⇒ こきんちゃんのキャラクターイメージを壊さないため、特に、アテンダントとの雑談は厳禁です。
- 装演者の感情は、表に出さないで下さい。
⇒ 不都合な事態はアテンダントに対応してもらって下さい。
- アテンダントとの間に「緊急事態」「トイレ」などを知らせるサインを決めておいて下さい。
⇒ 周囲の人から殴る蹴るなどの行為を受けた際もアテンダントへのサインで対処して下さい。

移動

- 進行スピード・方向については、アテンダントの指示に必ず従って下さい。
⇒ 着ぐるみのサイズが大きく、視界が狭いため、目の届かない部分はアテンダントの指示により把握して下さい。
- 走る行為は厳禁です。また、無理な運動はしないで下さい(ジャンプ等を含む)。
⇒ 事故につながる可能性が高いです。

環境

- 必ず、一定の時間を守り装演して下さい。基本は15分ごとに一度休憩をとり、無理・無茶な行動は絶対にしないで下さい。
⇒ 炎天下での装演は時間を調整し、水分補給は必ず行って下さい。保冷剤での体の冷却も効果的です。
- 火気のそばには、引火の危険があるので絶対に近寄らないで下さい。

- ⇒ 着用したままの喫煙は厳禁です。
- 雨天・雪の日には屋外に出さないで下さい。
- ⇒ 着ぐるみの足は大変滑りやすいので、転倒する危険や修復不可能な汚れになる場合があります。
- 長い距離を歩いたり、階段・段差を越えることは難しいので注意が必要です。

7 装演時の注意点（アテンダント向け）

位置

- 着ぐるみとは、「付かず離れず」を心がけ、有事の際にはすぐ対応できる距離にいて下さい。
- 必ず、着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助して下さい。
 - ⇒ 進行方向や人、障害物の存在を確認し、装演者に伝えて下さい。子どもなどの突進や体当たりは必ず静止して下さい。
- アテンダントが2人以上付く場合は、前後に分かれて下さい。
 - ⇒ 着ぐるみが振り返るときなど後方は危険です。

声かけ

- ポイントでは、必ず状況を装演者へ知らせてあげて下さい。
- 握手・写真撮影は、必ず正面からこきんちゃんにオーダーして下さい。
 - ⇒ 声かけは、親しげに装演者ではなく、こきんちゃんへ声をかけて下さい。
例：「こきんちゃん、お友達が握手したいって！」
「こきんちゃん、前に階段があるから気をつけてね！」
- 控室外で、装演者と無駄話をしないで下さい。

対応

- 周囲の状況に絶えず気を配って下さい。
 - ⇒ 装演者は、周囲がほとんど見えないので、声かけにより周囲の状況を知らせてあげて下さい。
- 装演者の様子に気を配り、無理をさせないようにして下さい。
 - ⇒ 出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングも考えておき、延長は避けて下さい。
- 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意して下さい。
- お客さんからの「入ってるの、男？女？」の質問へは、「こきんちゃんは、こきんちゃんですよ！」とこやかに一言だけ答えて下さい。
 - ⇒ こきんちゃんのイメージを守るため、装演者が誰かということについて答えることは厳禁です。
- 握手や写真撮影の際、人の整理を行って下さい。
- イベント等で他のキャラクターの着ぐるみ等と出演が重なった場合は、一緒に写真を撮ったり、並ばないように着ぐるみの配置に注意して下さい。
 - ⇒ 著作権上、他のキャラクターと並ぶことができません。

※ アテンダントも可能ならば、事前に着ぐるみを装着（体験）しておくとう望ましいです。

8 取扱い・片付け・管理

劣化等を少しでも食い止めるために、持運び・保管等を丁寧に行い、転がす、引きずるような乱暴な扱いはせず、限度以上の動きはしないで下さい。また、長時間硬い角に当て続けたり、重量物を乗せ続けると変形の恐れがあるので、十分注意して下さい。かびの発生等を防ぐため、正しく返却・保管することは非常に大切です。また、破損したり汚れた場合には、必ず所管課（企画政策課：042-383-9800）まで連絡して下さい。（重大な破損等が生じた場合は、指定の専門業者でクリーニング・修理補修を行い、原状に復した状態にして返却して下さい。）

頭部・胴体・脚部

- 内側の汗などはきれいなタオル等で拭き取り（特にあご紐は水拭きをして下さい。）、内部に消臭・殺菌スプレー等（メディゾール、ライゾール等アルコール系のものを使用して下さい。ファブリーズやリセッシュは不可です。）を吹きかけ、風通しの良い所で陰干ししよく乾かし、また表面のボアの汚れは、手で叩くか、固く絞ったきれいなタオルで軽く水拭きしてから付属の袋にいれ返却をお願いします。なお、ぬいぐるみの毛並みは、ブラシで整えて下さい。

手袋

- 手袋は洗濯して返却して下さい。洗濯機による洗濯も可能です。使用される場合には、洗剤少な目・手洗いモード（弱モード）・ネットに入れることを守っていただき、ボディと一緒に返却して下さい。また、乾燥機は絶対に使用しないで下さい。

9 運搬と保管

- 運搬時は必ず袋に入れた状態で、慎重な取り扱いをお願いします。
- 車両で移動する際は、車内で着ぐるみが揺れ破損等することのないよう柔らかいものなどで固定し取り扱って下さい。
- その他、運搬・返却・保管等については企画政策課の指導に従い行って下さい。